



～秋の火災予防運動～ 11月9日～11月15日

秋も深まり、朝夕は冷え込むようになりました。空気も乾燥し、火災が発生しやすくなっております。

そこで平成27年度中に川崎市内で発生した火災原因を振り返ります。

第1位

川崎市内で40年連続トップ 放火による火災

放火防止5つのポイント

- 家の周りは整理整頓し、雑誌、新聞等の燃えやすいものを置かない。
- 家の周りや駐車場は、外灯などを取付けて明るくする。
- 車庫、物置などは必ずカギを掛ける。
- ゴミは決められた収集日の朝に出す。
- 車やバイクには防災製品のポディーカバーを使う。



放火火災を防止するために、「放火されない・させない」環境づくりに取り組みましょう。

第2位

たばこによる火災！！

- 寝たばこはしない、させない。
- 火のついたたばこを灰皿に置いたままにしない。
- 灰皿の吸殻は、こまめに捨てる。
- 吸殻は、完全に消してから捨てる。



寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。

火災による平均損害額は例年約200万円前後という調査結果がでています。数百円のたばこから尊い命や財産を失うこともあります。たばこの取扱いには十分注意しましょう。

第3位

こんろによる火災！！

- こんろの周りに燃えやすいものは置かない。
- 揚げ物をしているときは、その場を離れない。
- 台所を離れる時は、必ず火を消す。



住宅火災での逃げ遅れによる死者の発生防止に向けて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理に御協力ください。